

# いそファミ通信

2016.4月号



来月から特定健診とがん健診が始まります。  
いつまでも健康で楽しく生活が送れるように、年に1回の健康診断を受けましょう。

## <特定健診とは？>

メタボリックシンドロームに着目し、その要因となっている生活習慣を改善するための保健指導を行い、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群を減少させることを目的としています。生活習慣病は自覚症状がないまま進行するため、個人が生活を振り返る絶好の機会です。

## <検診とは？>

特定の病気を発見し、早期に治療を行うことが目的です。



## <胃がん検診>

バリウム（造影剤）と発泡剤（胃を膨らませる薬）を飲み、胃の中の粘膜を観察する検査です。潰瘍やポリープも発見されます。  
男女ともに、40歳以上は年に1回、受けましょう。

## <肺がん検診>

肺全体の胸部レントゲン検査です。さらに喫煙者には喀痰細胞診検査を組み合わせる方法があります。  
男女ともに、40歳以上は年に1回、受けましょう。

## <大腸がん検診>

がんやポリープなどの大腸疾患があると、大腸内に出血することがあります。この検査は、その血液を検出する検査です。  
便潜血検査が陽性になった場合は、その原因を明らかにするために、精

密検査を受ける必要があります。  
男女ともに、40歳以上は年に1回、受けましょう。

## <前立腺がん検診>

血液検査で行えます。  
50歳からが対象で、5年ごとの検診になります。

## <子宮がん検診>

婦人科の専門医によって、子宮頸部の粘膜を採取し、がん細胞の有無やがん細胞の種類を知ることができます。これを細胞診といい、この検査によって子宮頸がんの診断ができます。  
20歳以上の女性は子宮頸がん検診を受けましょう。

## <乳がん検診>

マンモグラフィ（乳房レントゲン撮影）の検査では、医師の触診だけでは発見できないしこりを診断することができます。小さな、特に石灰化のある乳がんの発見に適しています。  
40歳以上の女性は乳がん検診を受けましょう。

## <お知らせです！！>

昨年まで当クリニックで胃がん検診の予約が出来なかった方に朗報です。昨年の11月より女性のレントゲン技師がスタッフに加わりました。そのため、今年からは胃がん検診を受けて頂ける枠が多くなります。バリウムも以前に比べ、かなり改良されており、とても飲みやすくなっています。今まで胃がん検診を受けることを躊躇されていた方も是非、今年から受けてみて下さい。

特定健診・がん検診の予約受付は4月中旬頃を予定にしております。  
詳しくはスタッフにお問い合わせ下さい。



いそむらファミリークリニック